

Cyberforest[®]

インターネットの先にある本物の自然

第9回サイバーフォレスト シンポジウム

サイバーフォレストシンポジウムは2012年初回から9年目を迎えました。1997年より森林の定点定時撮影とデジタル化によるインターネット公開開始、アーカイブを森林研究と環境教育へと活用、2010年ソーラーによる自立電源と衛星通信による遠隔ライブモニタリング開始、2011年3.11直後には岩手県大槌にモニタリング地点を設置、2014年から無人島や保存林などを含む多地点展開、そして海外連携を進めてきました。

第9回は最新の活動状況について、ライブ配信デモ、環境教育実践報告、トークセッション、海外プロジェクト、Acoustic Commons 説明を行います。是非皆様の率直なコメントやアイデアをお寄せいただきますようお願いいたします。より身近な「インターネットの先にある本物の自然」の展開について皆様と一緒に体験・検討できることを楽しみにしております。

祝！
サブスクリプション
配信決定
2020年2月リリース予定

13:30 開場・受付

14:00 挨拶 斎藤馨 Cyberforester
東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻

14:10-15:00 第1部 インターネットの先にある本物の演習林ライブ配信
座長 藤原章雄 (Cyberforester
東京大学農学生命科学研究科富士癒しの森研究所)

サイバーフォレストのライブモニタリングシステムを設置している東京大学富士癒しの森研究所の林内からインターネットライブ映像配信をHD画質で行い、24時間常時稼働のライブモニタリングシステムとの相乗的な活用と効果を実践的に検討します。

15:00-15:45 第2部 ライブ配信およびアーカイブの教育的活用
座長 中村和彦 (Cyberforester・東京大学農学生命科学研究科森林科学専攻)

サイバーフォレストに関連した環境教育研究についての2つの実践活用報告とディスカッション

① 科研基盤 (B) 自然体験と気候変動学習を定点連続写真・録音で繋ぐ省察プロセスの解明 (代表: 中村和彦)

中田 崇行 (富山県立大学工学部)、桜井 良 (立命館大学政策科学部)

小林 博樹 (Cyberforester 東京大学空間情報科学研究センター)

② I-O DATA 財団研究開発助成

自然環境の変化を可視化し身近なイメージの湧く環境教育のためのデジタル教材開発 (代表: 中村和彦)

宮島 衣瑛 (学習院大学文学部教育学科)

15:45-16:00 休憩

16:00-16:30 第3部 トークセッション Cyberforest アーカイブのサブスクリプション配信
座長 斎藤馨 Cyberforester

村田拓也 ((株) プチカフェレコース)、岡田晴夫 (サウンドラボ)

シンポジウム当日までのリリースを目指し、現在サイバーフォレストの録音アーカイブをサブスクリプションサービス配信すべく制作中です。これについて3人で語ります。

内容は、音楽サブスクリプションサービス業界のこと。サイバーフォレスト自然音がサブスクリプションに載るには、サイバーフォレストの録音アーカイブと配信トラック (曲) のこと。学と商いは相乗りできるのかなどです。ご期待ください。

16:30-17:00 総合ディスカッション

17:00-17:30 クロージング: Acoustic Commons 座長 中村和彦 Cyberforester
Peter Sinclair (EIA-AIX エクサン・プロバンス高等芸術学院 教授、オープンマイクの世界的プラットフォーム SoundMap を提供する Locus Sonus リーダー マルセイユから Skype 登壇

Acoustic Commons: Co-funded by the Creative Europe Programme of the European Union は Open mic (ライブ音配信) による Ecological sound art (生態音芸術) 活動を2019年より4年間展開します。主要メンバーは Full of Noises (Cumbria, UK), Locus Sonus (ESA-AIX, France), CONA (Ljubljana, Slovenia), Soundcamp (London UK), Hellenic Mediterranean University (Heraklion, Greece) で、この Associate organizations として Cyberforest (University of Tokyo) も参加しています。

17:35 閉会

Akio Fujiwara maintain #tetto's Mic & WebCam on the telescopic tower. Feb 1st. 2019 photo by kaoru saito

ライブ配信とアーカイブの
共存がもたらす新たな価値とは？

主催
・東京大学サイバーフォレスト
・科学研究費助成事業 (2019-2020) 「自然体験・気候変動学習を定点連続写真・I-O DATA 財団研究開発助成」自由環境の変化を可視化し身近なイメージの湧く環境教育のためのデジタル教材開発



令和2年2月23日 (日)

東京大学農学部弥生講堂一条ホール
地下鉄南北線東大前1番出口左30秒農学部正門入る即右

13時30分-17時35分
参加無料・事前登録不要





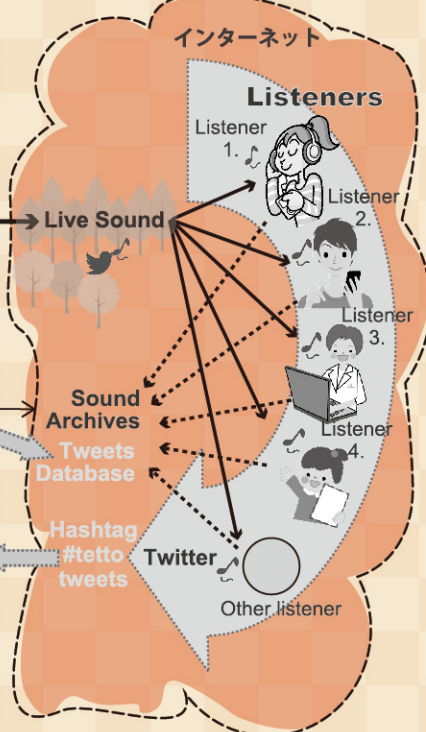
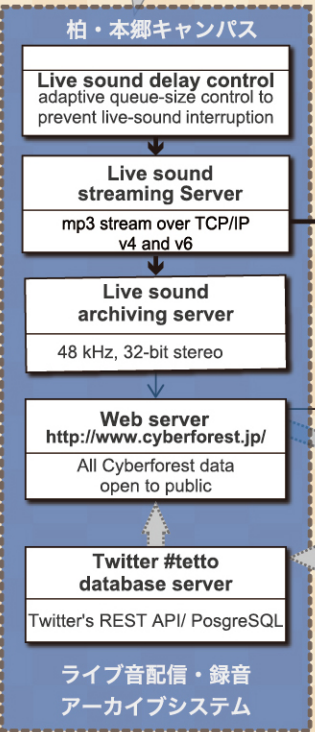
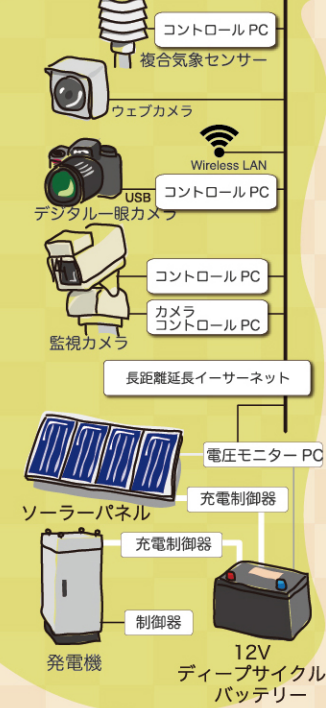
遠隔の森林・自然地



・遠隔の自然地を、いつでもどこにいても、音や映像で観察できます。

・ライブ音はスマホやパソコンで手軽に聞けるので人気です*1

・NPO バードリサーチと開発した「森林性鳥類のさえずり時期のモニタリング」は、ライブ音を聞きながら SNS を活用して 2011 年から毎年 4-6 月 91 日間の調査を継続しています*2*3



Cyberforest モニタリング

地点 Jan. 2020



凡例

○ 1日 24 時間配信記録

☆ 1日 7-8 時間配信記録

0 100 200 300km

North ↑

Sound Lab. × Cyberforest

ライブマイクを通じて、リアルタイムに森の時間を共有
森の今と音でつながる



スマホアクセス!!

メモ Jan. 2020
1. 舟田池はネットワーク接続を維持できなくなったため 2017 年 9 月末で停止しました。担当する人と予算があれば再開できるかもしれません。
2. 京都大学芦生研究林内の由良川の川岸マイクが加わりました。京都大学、Locus Sonus との連携で、Cyberforest が StreamingBox 等のシステムを設置し、その後マイクとアンプは Cyberforest 他地点と同等にしました。ライブ音はフランス Locus Sonus のサーバー経由で聞こえています。春から夏のカシカガエルの声がいいです！
3. #otohama ひょうたん島ライブモニタリングは 2018 年 10 月に津波被災の旧沿岸センター解体のため撤去したままですが、赤浜の海の勉強室が 2019 年夏に完成したので、2020 年 3 月に再設置予定です。(記 Kaoru Saito)
*2 https://www.bird-research.jp/1_katsudo/forest/index.html
*3 Kaoru Saito. et al. (2015): Utilizing the Cyberforest live sound system with social media to remotely conduct woodland bird censuses in Central Japan: AMBIO: 2015, Volume 44, Supplement 4, pp 572-583: doi:10. 1007/s13280-015-0708-y